



S.Suzuki

THE NIKKAN SPORTS SHO NAKAYAMA KIMPAI

第74回 日刊スポーツ賞 中山金杯 (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
付加賞 630,000円 180,000円 90,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、2024.1.6以降2024.12.28まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.1.5 中山 曇・良 芝2000m (国際 (特招))

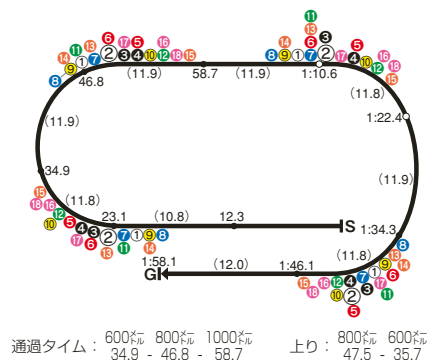
順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	②	アルナシーム	牡	6	58	藤岡佑介	1:58.1	11-10-9-6	34.6	452(+2)	8.4④	橋口慎介(栗東)	112
2	⑦	マイネルモート	牡	5	55	丹内祐次	1 1/4	13-12-11-9	34.6	466(+8)	10.2⑥	高木 登(美浦)	103
3	⑩	ボーンディスウェイ	牡	6	57	木幡巧也	1	3-3-3-3	35.7	498(+6)	16.5⑨	牧 光二(美浦)	105
4	⑤	クリスマスバレード	牝	4	55	石川裕紀人	1/2	1-1-1-1	36.1	460(-4)	4.4①	加藤士津八(美浦)	102
5	⑨	ギャラクシーナイト	牡	6	56	菊沢一樹	ハナ	16-16-16-14	34.5	512(+8)	88.4⑫	菊沢隆徳(美浦)	
6	③	バラレルヴィジョン	牡	6	58	T.マーカンド	クビ	9-8-9-9	35.0	492(+4)	11.3⑦	国枝 栄(美浦)	
7	⑤	ショウナンアディブ	牡	6	55	池添謙一	アタマ	6-6-6-6	35.4	510(-6)	19.6⑩	高野友和(栗東)	
8	⑧	エアファンディタ	牡	8	57.5	戸崎圭太	1	18-18-18-18	34.4	470(+4)	26.0⑪	池添 学(栗東)	
9	⑨	ホウオウビスケッツ	牡	5	59.5	H.ドイル	クビ	2-2-2-2	36.4	506(+4)	4.6②	奥村 武(美浦)	
10	①	ラゲルフ	牡	6	57.5	菅原明良	1/2	15-14-15-11	35.1	496(-4)	42.5⑬	宗像義忠(美浦)	
11	⑩	セイウンプラチナ	牡	6	54	内田博幸	クビ	4-5-5-4	36.0	512(+24)	120.5⑭	千葉直人(美浦)	
12	⑦	シンリョウカ	牝	5	56	木幡初也	ハナ	7-8-8-11	35.5	466(+4)	7.8③	竹内正洋(美浦)	
13	⑥	カラテ	牡	9	59	杉原誠人	3/4	9-10-11-14	35.4	546(+16)	64.8⑬	音無秀孝(栗東)	
14	④	ジェイバームス	騾	5	56	佐々木大輔	クビ	7-6-6-6	35.9	510(+8)	29.8⑪	堀 宣行(美浦)	
15	④	リカンカブルー	牡	6	58	津村明秀	2 1/2	16-16-16-16	35.5	496(+6)	8.5⑤	田中克典(栗東)	
16	③	アドマイヤビルゴ	牡	8	57	北村宏司	5	11-12-11-16	36.6	444(±0)	244.5⑮	友道康夫(栗東)	
17	②	ディオスバリエンテ	騾	7	55	大野拓弥	3 1/2	4-3-3-4	38.2	482(+4)	73.5⑮	堀 宣行(美浦)	
18	①	カレンシュトラウス	牡	8	54	荻野 極	1/2	13-14-11-11	37.3	528(+4)	258.7⑯	平田 修(栗東)	

単勝②840円(4*) 複勝②300円(5*) ⑦310円(6*) ⑩430円(8*) 枠連①-④2,050円(10*)

馬連②-⑦3,660円(14*) ワイド②-⑦1,320円(14*) ②-⑩2,700円(35*) ⑦-⑩2,310円(28*)

馬単②-⑦6,990円(26*) 3連複②-⑦-⑩20,630円(74*) 3連単②-⑦-⑩93,740円(332*)

5重勝⑤⑩⑨⑦②3,719,720円(125票) 対象競走：中山9R/中京10R/中山10R/中京11R/中山11R



通過タイム：600m 800m 1000m 1200m
34.9 - 46.8 - 58.7 上り：800m 600m
47.5 - 35.7

アラカルト

- ・藤岡佑介騎手は中山金杯初勝利。JRA重賞は通算48勝目
- ・橋口慎介調教師は中山金杯初勝利。JRA重賞は通算5勝目
- ・モーリス産駒はJRA重賞通算24勝目
- ・6歳馬の勝利は20年トリオンフに続く通算14回目
- ・非当選馬 1頭(レガトゥス)
- ・非抽選馬 5頭(アケルナルスター、グランスラムアスク、シルトホルン、シーズンリッチ、パラジ)

アルナシーム *Al Naseem*

牡 鹿毛 2019.4.14生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・ライオンレースホース(株) 栗東・橋口慎介厩舎
馬名意味・海風(アラビア語)。母名より連想

ドバイマジェスティUSA系 F2-s

モーリス 鹿毛 2011	スクリーンヒーロー 鹿毛 2004	グラスワンダーUSA ランニングヒロイン
	メジロフランシス 鹿毛 2001	カーネギーIRE メジロモントレー
ジュベルアリ 鹿毛 2013	ディーブインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	ドバイマジェスティUSA 黒鹿毛 2005	Essence of Dubai Great Majesty

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4 Lyphard S5×M5

INTERVIEW

佐々木淳史 厩舎長(ノーザンファーム空港)

活躍が期待できる勝利となりました

2歳の頃はがむしやに走っていましたが、年齢やレース経験を重ねていくうちに落ち着きが出てきたのでしょうか。そこに厩舎での管理や、手綱を取ってきたジョッキーの皆さんのアプローチが、距離適性の幅を広げてくれたと思います。レースが速い流れになったのもこの馬には向いた感じもありますが、今後は中距離重賞での活躍が期待できる勝利となりました。

A. Takeda



の新星に躍り出た。

地力も強化してきた6歳馬が中距離界の新星に躍り出た。

重賞未勝利馬が上位人気を占めた京都金杯に対し、中山金杯は動盪を持つ馬たちが中心勢力を形成。ハンデ戦らしい混戦ムードに包まれたなか、同舞台の紫苑Sをレコードで制したクリスマスパレードと、函館記念を完勝、秋の天皇賞でも3着に食い込んだホウオウビスケッツが4倍台のオッズで、2番人気を分けた。新潟記念の覇者シンリョクカがこれに続いたものの、鮮やかな強襲を決めたのは4番人気のアルナシーム。明け6歳のモーリス産駒が新境地を開拓する勝利を飾った。

軽快なダッシュで飛び出したクリスマスパレードが、1コーナーで思い切りよく先頭に立ち、レースを先導。し

かし2番手のホウオウビスケッツにマークされてペースを落とせず、11秒台のラップを連発する厳しい形の逃げとなってしまう。そんな1、2番人気馬を遠目に見送りながら、シンリョクカは中国の外を迫る。アルナシームの藤岡佑介騎手はその直後のインに収まり、折り合いに専念した。

4コーナーでホウオウビスケッツに並びかけられても、クリスマスパレードは頑として先頭を譲らず、直線の攻防の幕が開く。3番手を追走してきたボーンデイスウェイも前を呑み込みにかかったが、その外を鋭く伸びたのがアルナシームだった。4コーナーから徐々に進出、先行勢を射程に収めた藤岡騎手が本格的に追い出すと、馬も弾けるような末脚を発揮。一気に先頭へ突き抜けて勝負を決めた。

デビュー当初から大きな期待をかけられていた本馬は16000歳、18000歳戦で実績を積み上げ、昨年の中京記念(小倉・18000歳)で重賞初制覇を達成。とはいえその後は富士S6着、マイルチャンピオンシップ11着と結果が出なかつたため、これまで好走実績がなかった20000歳戦(過去に2戦して6、8着)に活路を求められた。スムーズに折り合い、鋭い差し脚を繰り出したこの日の走りは高い「適性」の証明。キャリアを重ねつつ、着実に地力も強化してきた6歳馬が中距離界の新星に躍り出た。

父モーリス

北海道日高町 戸川牧場生産 中央、香18戦11勝(天皇賞(秋)^{G1}、香港C^{G1}、香港マイル^{G1}、チャンピオンズマイル・香^{G1}、安田記念^{G1}、マイルチャンピオンシップ^{G1})、年度代表馬、最優秀短距離馬、特別賞、17年から日、豪で供用〔代表産駒〕ヒトツ Hitotsu(ヴィクトリアダービー・豪^{G1}、オーストラリアンギニー・豪^{G1}、ATCダービー・豪^{G1})、マズ Mazu(ドゥームベン10,000・豪^{G1})、ジャックドール(大阪杯^{G1})、ピクシーナイト(スプリンターズS^{G1})、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯^{G1})、アドマイヤーズム(朝日杯フューチュリティS^{G1})、ノースブリッジ(札幌記念^{G2})、マテンロウスカイ(中山記念^{G2})、ディヴィーナ(アイルランドトロフィー府中牝馬S^{G2})、シュトラウス(東京スポーツ杯2歳S^{G2})、シゲルピンクルビー(フィリーズレビュー^{G2})、バンクモ

ー Bank Maur(アリストークラークS・豪^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母ジュベルアリ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 不出走

ロジマジェスティ(17 牝父エピファネイア)中央7戦0勝

ナローパス(18 牝父ハービンジャーGB)地方36戦5勝

アルナシーム 本馬(19 牝父モーリス)中央23戦7勝(中山金杯^{G3}、中京記念^{G3}、カシオペアS・L、垂水S、瀬戸内海特別、城崎特別、都大路S・L2着) 獲得総賞金205,272,000円

ポートデラメール(22 牝父ナダルUSA)中央3戦1勝 ㊦

(24 牝父リオンディーズ)

※20、23(不受胎)、21(流産)

祖母ドバイマジェスティUSA

北米12勝(BCフリー&メアスプリント^{G1}、サラブレッドクラブオブアメリカS^{G2}、ウイニングカラーズS^{G3}2回、フランクリンカウンティS・L、インクレディブルリヴェンジS・L)、米牝馬チャンピオンズプリンター、10年輸入ジュベルアリ(13 前出)

アルアイン(14 牝父ディーブインパクト)中央、香5勝(大阪杯^{G1}、皐月賞^{G1}、

毎日杯^{G3}、オールカマー^{G2}2着、京都記念^{G2}2着)、種牡馬

ダノンマジェスティ(15 牝父ディーブインパクト)中央4勝(但馬S)

ヒメノカリス(17 牝父ディーブインパクト)中央4勝(新春S)

シャフリヤール(18 牝父ディーブインパクト)中央、首、北米、英4勝(日本ダービー^{G1}、ドバイシーマクラシック・首^{G1}、毎日杯^{G3}、ジャパンC^{G1}2着、ドバイシーマクラシック・首^{G1}2着、有馬記念^{G1}2着、ジャパンC^{G1}3着、BCターフ・米^{G1}3着2回)、種牡馬

新境地を開拓し中距離界の新星に